

## 平成30年度 第2回 大阪府立かわち野高等学校 学校運営協議会 議事録

日時：平成30年12月3日（月）15時30分～16時50分

場所：アクティブラーニング室

### 1. 参加者

委員6名 事務局 本校職員13名

### 2. 報告

- ・平成30年度学校説明会実施状況について

### 3. 協議

<平成30年度の取組みの進捗確認と改善に向けての意見>

- ・個別の対応マニュアルは、学年によって変わるのか。→個々の生徒により対応している。現在、中学校では小学校の指導を継承している。これは中学高校間でも必要。高3の卒業に向けてどのようなモチベーションなのか
- ・各部、各位、よく取り組まれている。年度末目標達成を目指していただきたい。
- ・中学生を見ると、近くの高校の進学を考えていない生徒が目立つ。
- ・「先輩が通っているから」「一度行ったことがあるから」など安易な理由で進路先を決める生徒も多い。
- ・遅刻は教員力で挽回していただきたい。
- ・クラブの退部率が気になる。
- ・2年生の遅刻が中だるみとは、企業ではあり得ないこと。親が把握しているのに遅刻をするということは論外。どうやって親を支援していくのかが課題にもなりそうな気がする。
- ・1年生の1分間スピーチは素晴らしい取り組みであり、ぜひ継続をお願いしたい。
- ・指導と支援の使い分けを、よろしく願います。
- ・遅刻に関しては半分は保護者が要因と考えられる。PTA代表としては実行委員会などで保護者へ呼びかけたい。
- ・PTAでは楽しい学校、中学生が入りたいと感じる活動を行っている。地域に愛される安全で安心な学校を目指したい。

<まとめ>

- ・元気な学校は、まず先生が元気であることが大切である。
- ・学校内だけで活性化を図ろうとしてもなかなか難しく、地域とのつながり、中学校、OBとのつながりを大切にしていってほしい。
- ・遅刻が多いという現象をどうするかではなく、遅刻そのものをどう捉えるのかを指導していただきたい。
- ・再編を踏まえて、かわち野高校が残れるよう頑張ってもらいたい。地域密着は生き残る。